

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年11月17日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	たにもと建設株式会社
所在地	神奈川県横浜市中区羽衣町2-7-10
代表者役職・氏名	代表取締役 藤坂 勇
担当者連絡先	電話：045-264-2911 営業部 石戸大政 メール：eigyoutanimoto-const.co.jp
ウェブサイトURL	http://tanimoto-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和38年に創業した会社であり、横浜・東京の港湾を中心として海上土木、浚渫、埋立工事、海上石材砂の販売供給を実施している企業である。
---

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	自然エネルギーの活用としてハイブリッド、電気自動車を導入する事でCO2削減への取組	現状0台 目標5台 CO2削減量 30%削減
□環境 □社会 ✓経済	時間外労働の適正、合理化において労働時間を短縮する。	現状(月平均)60時間以下 目標(月平均)40時間以下
□環境 ✓社会 □経済	ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献を図る。	現状(清掃活動他)年6回以下 目標(清掃活動他)年10回以下

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社規(就業規則)の周知徹底と各所属長への相談に乗るよう努めている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	元請け、下請け工事の内容により勤務状況が違うので担当工事引き渡し後極力休暇を取得させている。									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全環境委員長を中心に年間安全環境衛生目標を作成し、工事着手前検討会、工事安全環境パトロール等を工事部と協力して実施している。			3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	本人と家族も含め双方が理解すべき対策を実施し、復帰まで支援を行っている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性技術者も含め多様な人材確保を発信しているが雇用に至っていない。現場事務所内環境衛生面として女性用専用トイレ更衣室等を備えている。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	外部ゼネコン等研修に全額負担にて一か月程度参加させている。資格取得費用は一部負担している。				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	産業医(内科クリニック)を配置し、健康診断、再検査、メタボ管理等積極的に実施して社員の健康管理向上に取り組んでいる。			3						8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	ISO業務計画に基づき、室内蛍光灯削減、昼休み消灯、コピー機カラー印刷削減実施している。								7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	Co2排出量低減型の建設機械を積極的に採用しています。								7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3						11.6	12.4				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	地元漁業組合との関りの中で、稚魚放流等イベントに参加し生態系環境保全に努めている。							6.6								15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	元請け施工内に於いて汚濁防止対策、循環型節水機器設置に取り組んでいる。							6.4 6.6										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を認証取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	地域志向CSR方針HP及びパンフレット等に取り組みを掲載している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001、ISO14001認証取得により仕組みを構築している。			3.9								12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	上記と同じ。										9							
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	2014年に横浜型地域貢献企業の最上位認定を取得し災害ボランティア活動も含め行っている。				4						9	11	12		14	15		17
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	定期的に山下公園清掃活動に積極的に参加している。カレンダーを福祉施設に寄付している。				4							11			14	15		17
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

